

事業所名

こぼんはうすさくら松本白板教室

支援プログラム（児童発達支援・放課後等デイサービス）

作成日

令和6年

12月

6日

法人（事業所）理念		すべての答えは、児童の中にあります。可能性を見つけて差し上げる集団になろう！							
支援方針		「児童を受け止める、探る、変化に気づく、成長のヒントをみつける」 すべての基礎は受容から、受容した物を整理し、変化に気づき、新たな可能性を探っていく							
営業時間		9時	30分	から	18時	30分	まで	送迎実施の有無	あり
		支 援 内 容							
本人支援	健康・生活	(児童発達支援) ・イラストを使い構造化し見通しを持たせる。 (放課後等デイサービス) ・お子さんの日常の心身の様子を見守りながら状況に応じた対応、支援をしています（おやつ作り、片付け、手洗い、身支度、トイレ等）							
	運動・感覚	(児童発達支援) ・体のバランス、体の機能を支援する。 ・指先遊び（ハサミ、折り紙、お絵描き、手遊び等） (放課後等デイサービス) ・個別の課題に応じた集団による活動により微細、粗大運動・バランス感覚・感覚統合・耐久性・協調性を鍛えます（ルールを守りながらゲーム、運動、レクリエーション等）							
	認知・行動	(児童発達支援) ・視覚支援を用いた遊びの中で認知と行動を理解し習慣化していく。 (放課後等デイサービス) ・視覚支援、身体の動きを伴うSST（ソーシャルスキルトレーニング）オリジナルルールによる各種レクリエーション、ゲームなど。							
	言語コミュニケーション	(児童発達支援) ・イラストを提示し言葉を習得していく。 ・口の体操をして発語を促していく。 (放課後等デイサービス) ・一人ひとりの表現スタイルを尊重したSST様式と自由なディスカッション。							
	人間関係 社会性	(児童発達支援) ・遊びや活動を通して友達との関わり方を教えていく。 (放課後等デイサービス) ・個別から小集団へ小集団からグループ活動へと流動的に用いて一人ひとりの自己表現を尊重しながら各場面に応じた幅広い支援の提供。							
家族支援		保育園や学校など事業所以外での困り事や子育てに関する相談に応じています。			移行支援		お様やご家族への進路情報提供の他、必要に応じて、退所前後に就学先や進路先へ伺い、援情報の共有等に対応します。		
地域支援・地域連携		幼保・学校や医療機関と連携し、情報共有の他、個別援計画の作成・合理的配慮等の環境調整等の相談に応じています。			職員の質の向上		入社時の自社研修制度、内外部資料による定期的な勉強会の実施		
主な行事等		学校長期休みの期間に実店舗での買い物体験・電車乗車体験・調理体験・公園などの野外活動を行っています。 また、季節を感じられる四季折々のイベントも行っています。							